



大田区シンボルマーク

# 大田区政に関する世論調査

平成28年7月実施

(概要版)

大田区では、区民の皆様のご意見を伺う方法の一つとして、昭和49年から「大田区政に関する世論調査」を実施しています。この小冊子は、その調査結果の概要をお知らせするものです。

調査にご協力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

平成28年12月

大田区 企画経営部 広聴広報課

## ■調査概要

対象者 区内に在住する満18歳以上の男女個人（外国人を含む）

対象数 2,000人

回収数 1,104人

回収率 55.2%

有効回収数 1,104人（電子申請での回答含む）

有効回収率 55.2%

抽出方法 層化無作為抽出法

調査方法 郵送調査（回収方法は郵送回収に加え、携帯電話およびパソコンを利用した電子申請からの回答も実施）

## ■グラフの見方

- ・nはその設問の回答者数を表す。
- ・集計は小数点以下第二位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の場合は、合計が100%を越えることがある。

### 1. 定住性

- (1) 居住開始時期
- ★(2) 定住意向【P2】
- ★(3) ずっと住みたい理由【P2】
- ★(4) 住みたい期間【P3】
- ★(5) 住んでいるまちが魅力的か【P3】

### 2. 暮らしやすさ

- ★(1) 生活環境の満足度【P4】
- ★(2) 住んでいるまちの暮らしやすさ【P5】

《基本目標1 生涯を健やかに安心して  
いきいきと暮らせるまち》

### 3. バリアフリー・ユニバーサルデザイン

- ★(1) 「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」の認知度【P5】
- ★(2) 駅周辺のバリアフリー化【P6】

### 4. 生きがいと誇りをもって暮らせるまち

- ★(1) 区立図書館の利用頻度【P6】
- (2) 区立図書館への改善要望
- (3) 区立図書館を利用しない理由

### 5. スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまち

- ★(1) 東京オリンピック・パラリンピック大会が身近になってきたと感じているか【P7】
- ★(2) 東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて区に期待する取り組み【P7】
- ★(3) この1年間の運動・スポーツ活動の頻度【P8】

### 6. 安定した暮らしと人権

- ★(1) 男女の地位平等【P8】

《基本目標2 まちの魅力と産業が世界  
に向けて輝く都市》

### 7. 潤いとやすらぎのあるまち

- ★(1) 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか【P9】

### 8. 世界へ羽ばたくまち

- ★(1) 羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献度【P9】

### 9. 未来につながる空港臨海部

- ★(1) 空港臨海部が身近なまちとなってきているか【P10】

### 10. 国際交流

- ★(1) 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか【P10】
- (2) 区内の文化施設に期待すること

### 11. 大田区の観光

- ★(1) 大田区を訪れる外国人が増えていると感じるか【P11】
- (2) 外国人が増えていると感じる場所
- (3) 外国人が増えていると感じる駅周辺及び観光スポットの具体的な場所
- ★(4) 「大田区観光情報センター」の認知度【P11】
- (5) 「大田区観光情報センター」を知ったきっかけ

《基本目標3 地域力と行政の連携が  
つくる人と地球に優しいまち》

### 12. 地域力の土台づくり

- ★(1) 参加したことのある地域活動【P12】

### 13. 地域力を活かした取り組み

- ★(1) 自治会・町会の加入状況【P13】
- (2) 自治会・町会に加入しない理由

### 14. 災害に強いまちづくり

- ★(1) 大震災発生時に不安だと思うもの【P13】
- ★(2) 震災対策の実施状況【P14】
- (3) 防災訓練に参加していない理由
- ★(4) 災害情報の入手手段【P15】

### 15. 防犯に強いまちづくり

- ★(1) 力を入れてほしい防犯施策【P15】

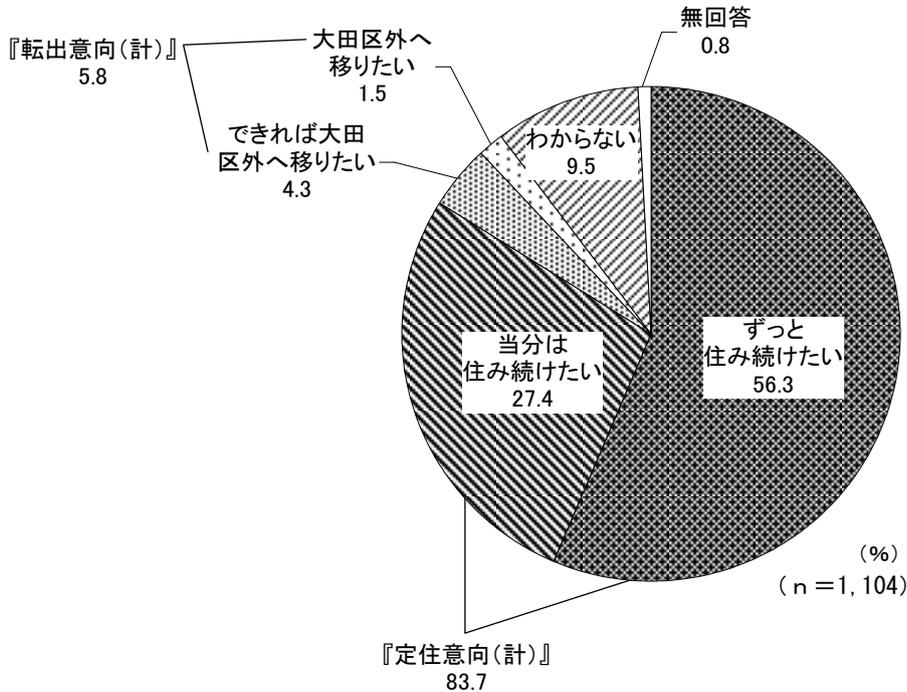
### 16. 区政への関心と要望

- ★(1) 区の制度・施策・施設の認知度【P16】
- ★(2) 区の情報を知るために利用する媒体【P17】
- ★(3) 区の情報公開【P17】
- ★(4) 施策要望【P18】
- ★(5) 大田区の「良さ」や「魅力」【P19】

# 1. 定住性

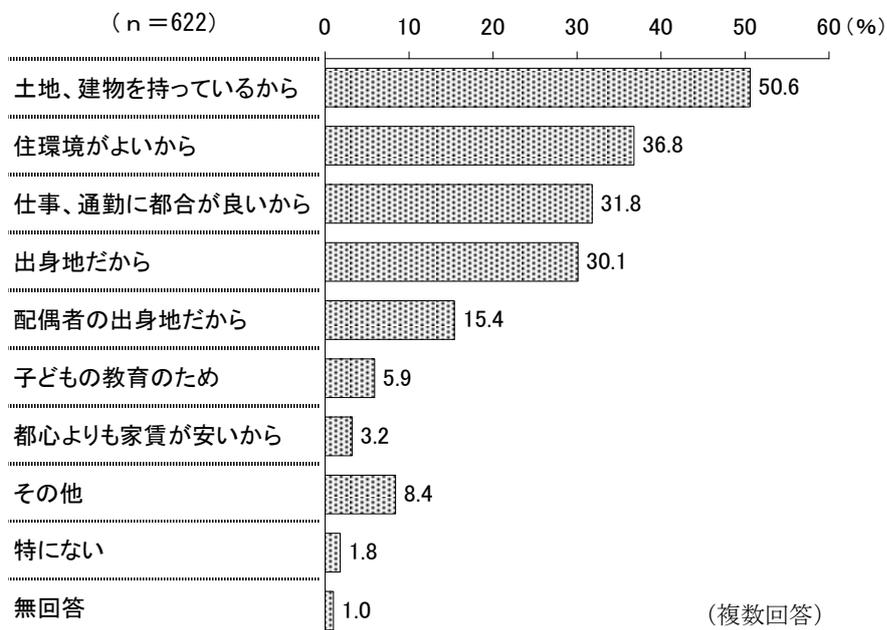
## ■ 定住意向・・・『定住意向（計）』は8割を超える

定住意向を聞いたところ、「ずっと住みたい」（56.3%）が5割半ばで最も高く、これに「当分は住みたい」（27.4%）を合わせた『定住意向（計）』（83.7%）は8割を超えている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」（4.3%）と「大田区外へ移りたい」（1.5%）を合わせた『転出意向（計）』（5.8%）はわずかとなっている。



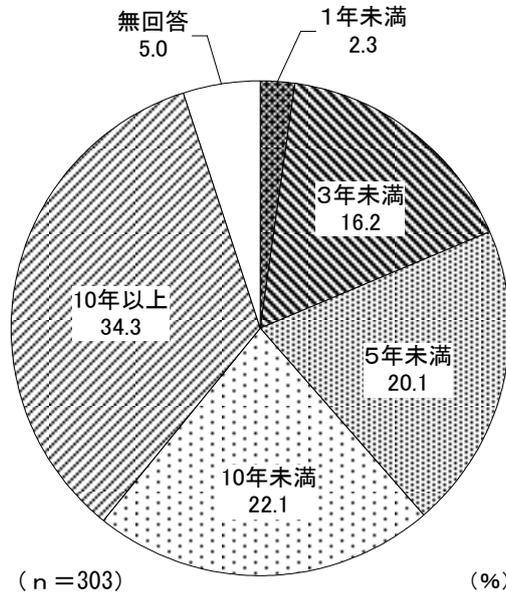
## ■ ずっと住みたい理由・・・「土地、建物を持っているから」が約5割

これからも大田区に「ずっと住みたい」と答えた人（622人）に、その理由を聞いたところ、「土地、建物を持っているから」（50.6%）が約5割で最も高く、次いで「住環境がよいから」（36.8%）、「仕事、通勤に都合が良いから」（31.8%）、「出身地だから」（30.1%）、「配偶者の出身地だから」（15.4%）などの順となっている。



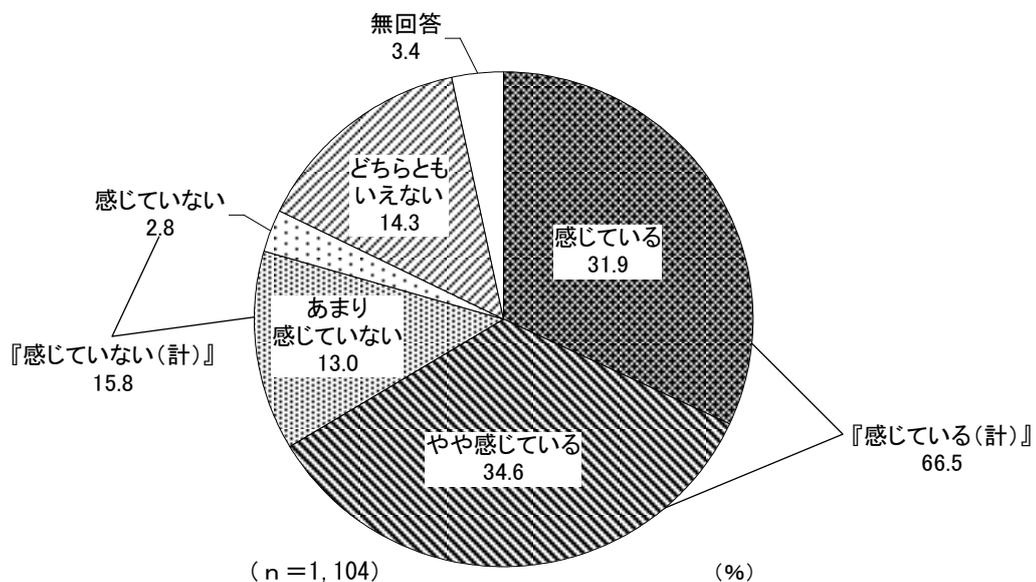
■ 住み続けたい期間・・・「10年以上」が3割半ば

大田区に「当分は住み続けたい」と答えた人（303人）に、それはどのくらいの期間か聞いたところ、「10年以上」（34.3%）が3割半ばで最も高く、次いで「10年未満」（22.1%）、「5年未満」（20.1%）、「3年未満」（16.2%）などの順となっている。



■ 住んでいるまちが魅力的か・・・『感じている（計）』は7割近く

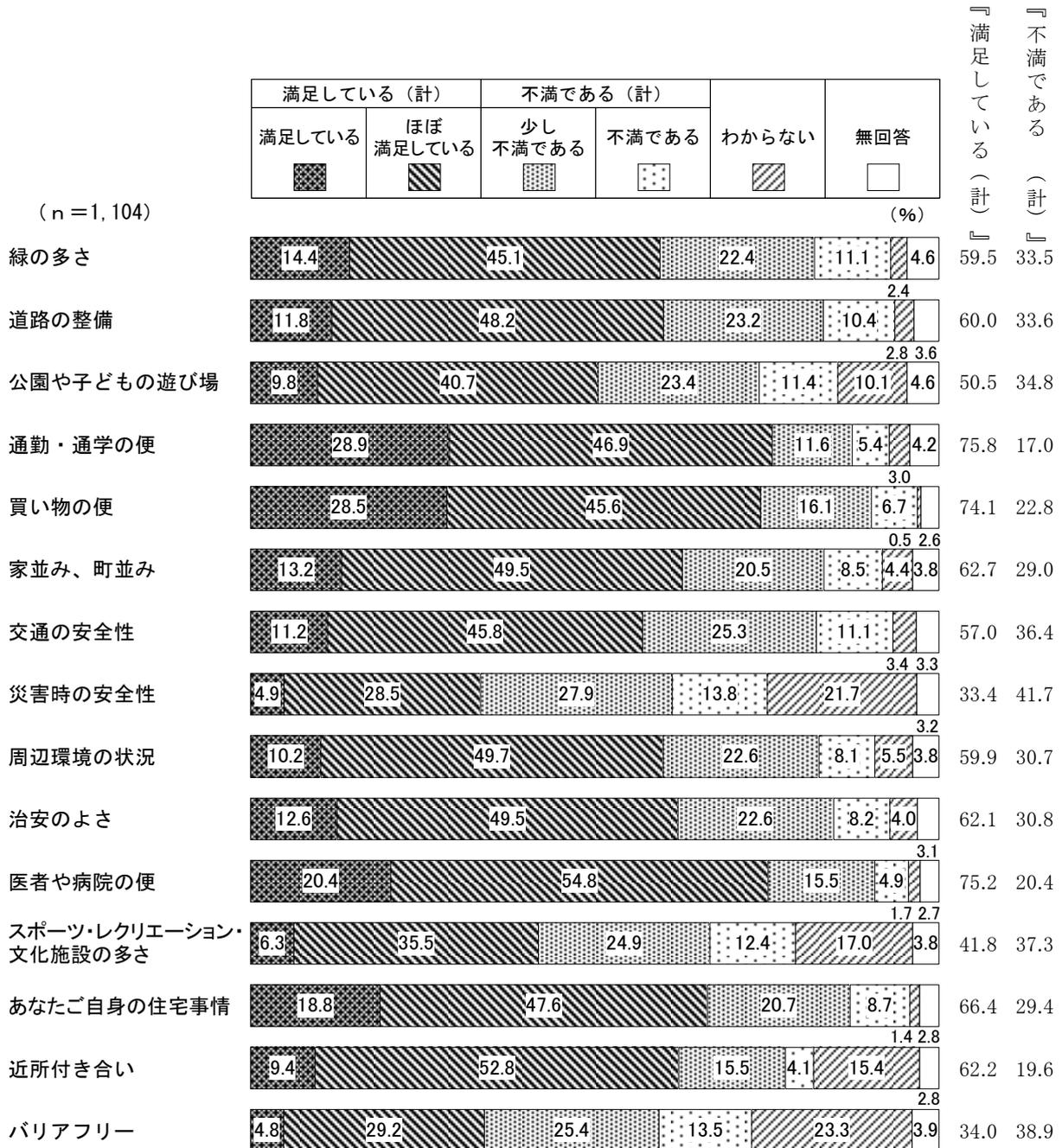
住んでいるまちが魅力的であると感じているか聞いたところ、「やや感じている」（34.6%）が3割半ばで最も高く、これに「感じている」（31.9%）を合わせた『感じている（計）』（66.5%）は7割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」（13.0%）と「感じていない」（2.8%）を合わせた『感じていない（計）』（15.8%）は1割半ばとなっている。



## 2. 暮らしやすさ

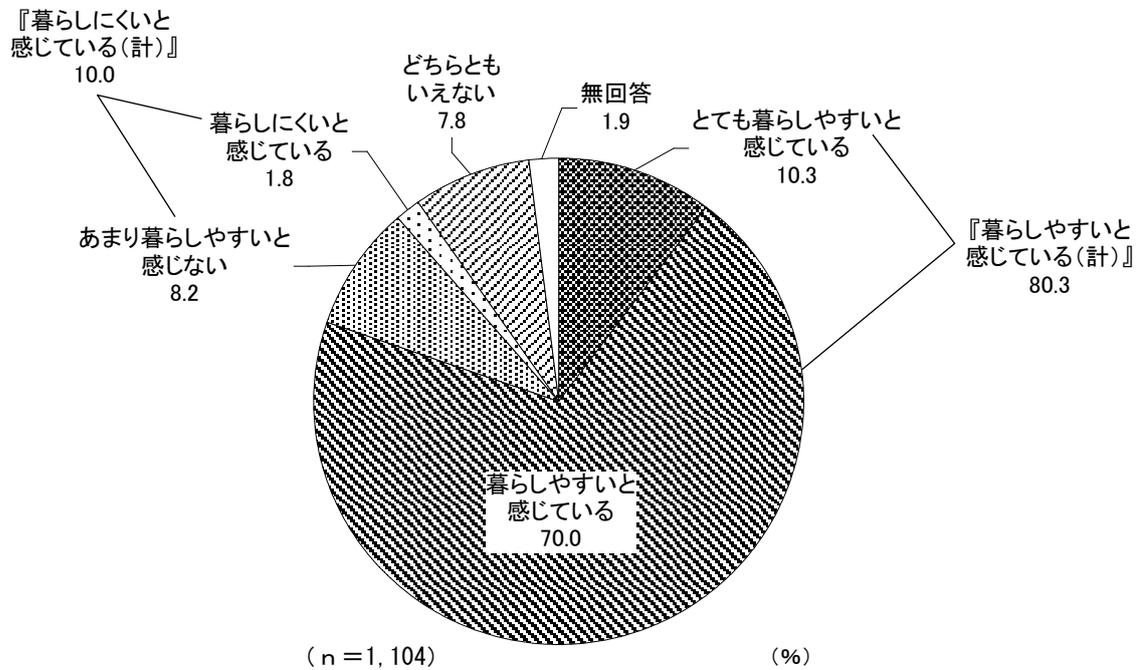
■生活環境の満足度・・・『満足している（計）』は“通勤・通学の便”、“医者や病院の便”、“買い物の便”で7割半ば

住んでいるまちの生活環境について聞いたところ、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している（計）』は「通勤・通学の便」（75.8%）、「医者や病院の便」（75.2%）、「買い物の便」（74.1%）の3項目で7割半ばと高くなっている。一方、「少し不満である」と「不満である」を合わせた『不満である（計）』は「災害時の安全性」（41.7%）で4割を超えて最も高く、次いで「バリアフリー」（38.9%）が4割近くとなっている。



■住んでいるまちの暮らしやすさ・・・『暮らしやすいと感じている(計)』は8割

現在住んでいるまちの暮らしやすさについて聞いたところ、「暮らしやすいと感じている」(70.0%)が7割で最も高く、これに「とても暮らしやすいと感じている」(10.3%)を合わせた『暮らしやすいと感じている(計)』(80.3%)は8割となっている。一方、「あまり暮らしやすいと感じない」(8.2%)と「暮らしにくいと感じている」(1.8%)を合わせた『暮らしにくいと感じている(計)』(10.0%)は1割となっている。



《基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

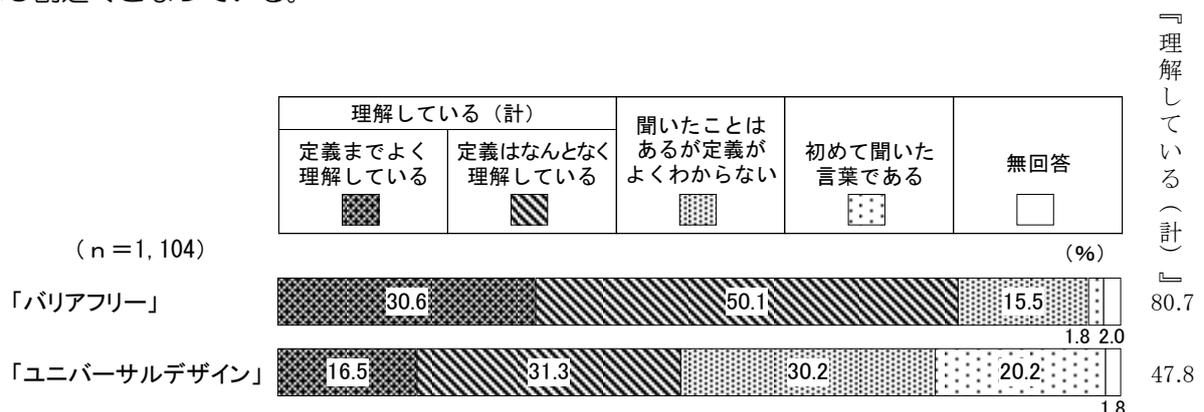
3. バリアフリー・ユニバーサルデザイン

■「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」の認知度

・・・『理解している(計)』は「バリアフリー」が約8割、「ユニバーサルデザイン」が5割近く

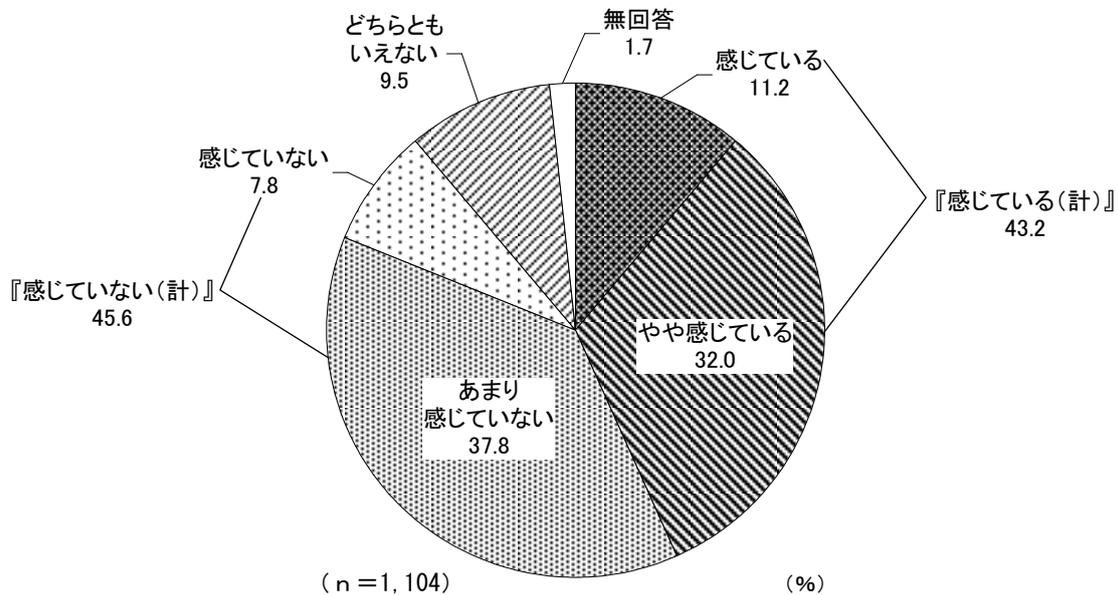
「バリアフリー」という言葉を知っているか聞いたところ、「定義はなんとなく理解している」(50.1%)が5割で最も高く、これに「定義までよく理解している」(30.6%)を合わせた『理解している(計)』(80.7%)は約8割となっている。

「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っているか聞いたところ、「定義までよく理解している」(16.5%)と「定義はなんとなく理解している」(31.3%)を合わせた『理解している(計)』(47.8%)は5割近くとなっている。



■ 駅周辺のバリアフリー化・・・『感じている(計)』は4割を超える

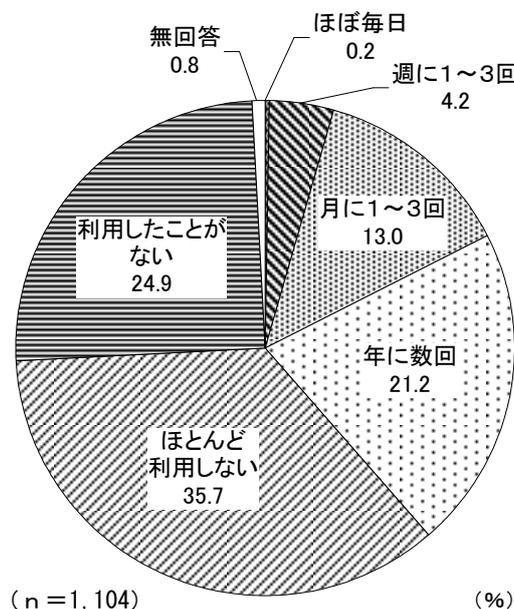
駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じているか聞いたところ、「感じている」(11.2%)と「やや感じている」(32.0%)を合わせた『感じている(計)』(43.2%)は4割を超えている。一方、「あまり感じている」(37.8%)と「感じている」(7.8%)を合わせた『感じている(計)』(45.6%)は4割半ばとなっている。



#### 4. 生きがいと誇りをもって暮らせるまち

■ 区立図書館の利用頻度・・・『年に数回』が2割を超える

大田区立図書館をどのくらいの頻度で利用しているか聞いたところ、「年に数回」(21.2%)が2割を超え、「月に1～3回」(13.0%)が1割を超えている。一方、「ほとんど利用しない」(35.7%)が3割半ば、「利用したことがない」(24.9%)が2割半ばとなっている。

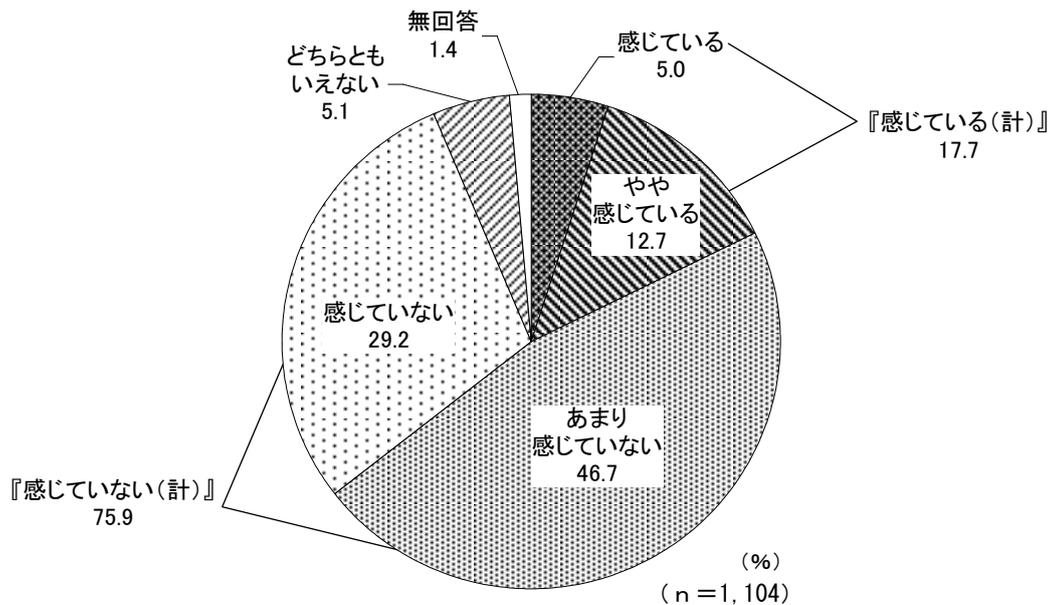


## 5. スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまち

### ■東京オリンピック・パラリンピック大会が身近になってきたと感じているか

・・・『感じている(計)』は2割近く

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会が身近になってきたと感じているか聞いたところ、「感じている」(5.0%)と「やや感じている」(12.7%)を合わせた『感じている(計)』(17.7%)は2割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」(46.7%)と「感じていない」(29.2%)を合わせた『感じていない(計)』(75.9%)は7割半ばと高くなっている。

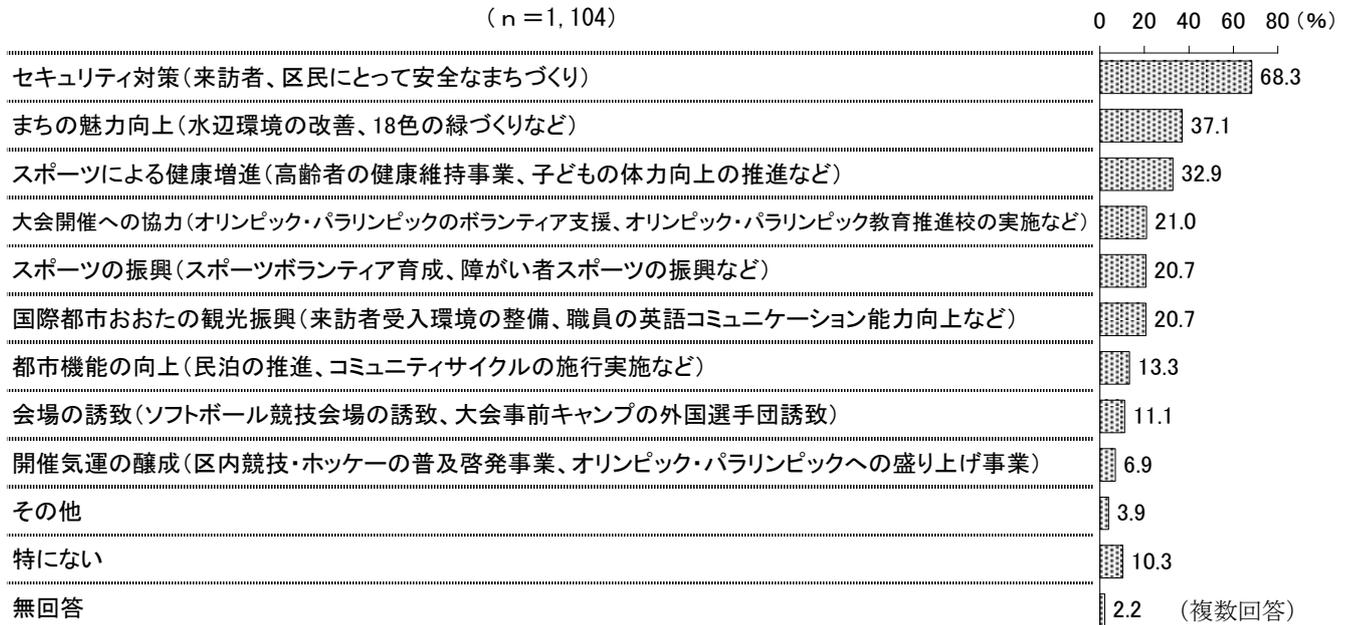


### ■東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて区に期待する取り組み

・・・『セキュリティ対策(来訪者、区民にとって安全なまちづくり)』が7割近く

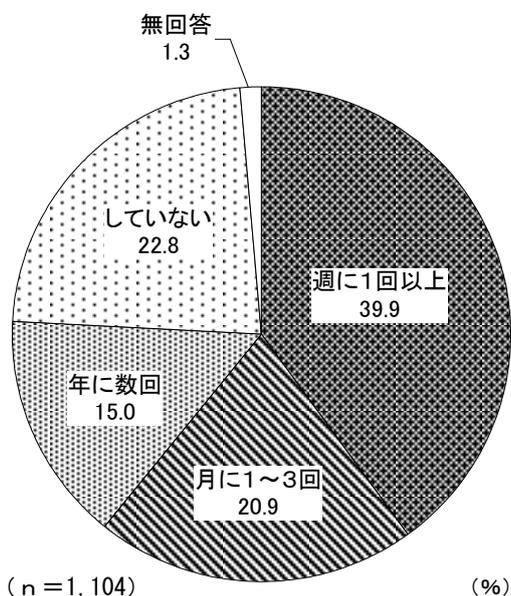
2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、大田区に期待する取り組みを聞いたところ、「セキュリティ対策(来訪者、区民にとって安全なまちづくり)」(68.3%)が7割近くで最も高く、次いで「まちの魅力向上(水辺環境の改善、18色の緑づくりなど)」(37.1%)、「スポーツによる健康増進(高齢者の健康維持事業、子どもの体力向上の推進など)」(32.9%)などの順になっている。

(n=1,104)



■この1年間の運動・スポーツ活動の頻度・・・「週に1回以上」が4割

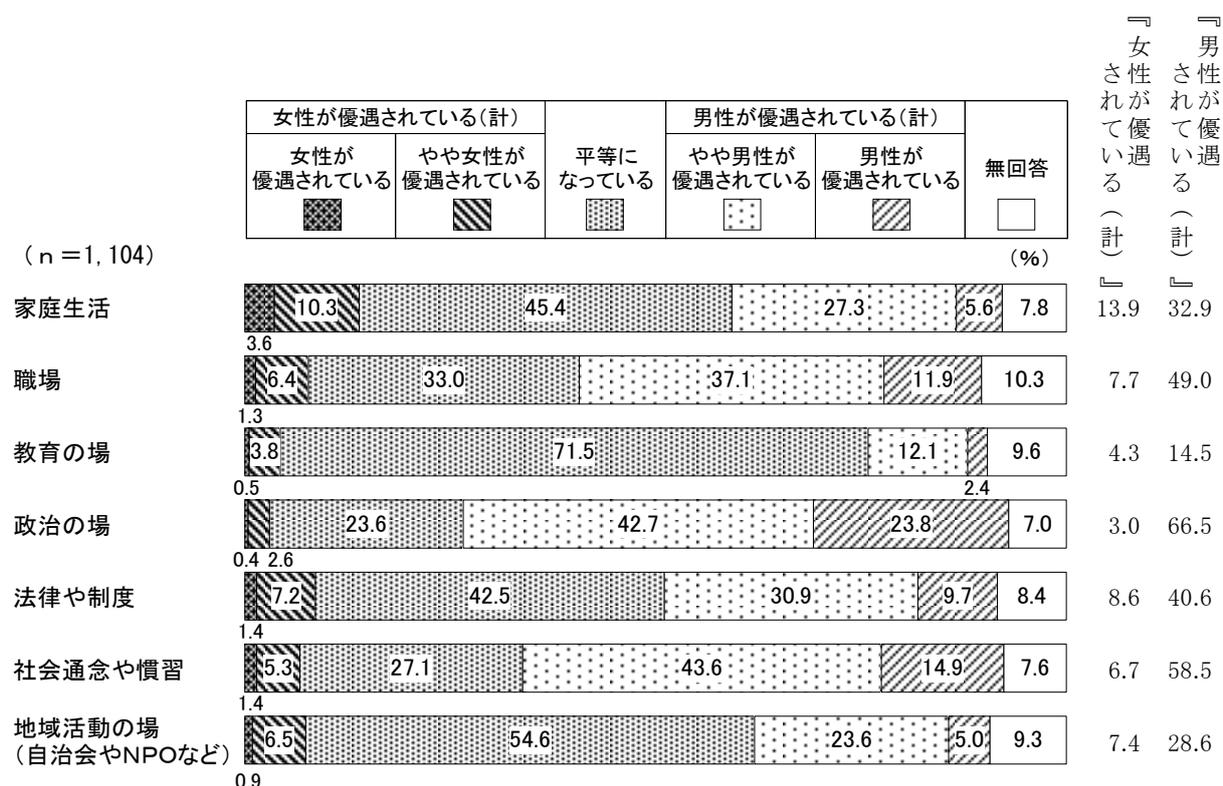
この1年間の運動・スポーツ活動の頻度を聞いたところ、「週に1回以上」(39.9%)が4割で最も高く、「月に1～3回」(20.9%)は約2割、「年に数回」(15.0%)は1割半ばとなっている。一方、「していない」(22.8%)は2割を超えている。



## 6. 安定した暮らしと人権

■男女の地位平等・・・『女性が優遇されている(計)』は“家庭生活”で1割を超える  
『男性が優遇されている(計)』は“政治の場”で7割近く

男女の地位について聞いたところ、「女性が優遇されている」と「やや女性が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている(計)』は“家庭生活”(13.9%)で1割を超えている。一方、「やや男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている(計)』は“政治の場”(66.5%)で7割近く、“社会通念や慣習”(58.5%)で6割近くと高くなっている。

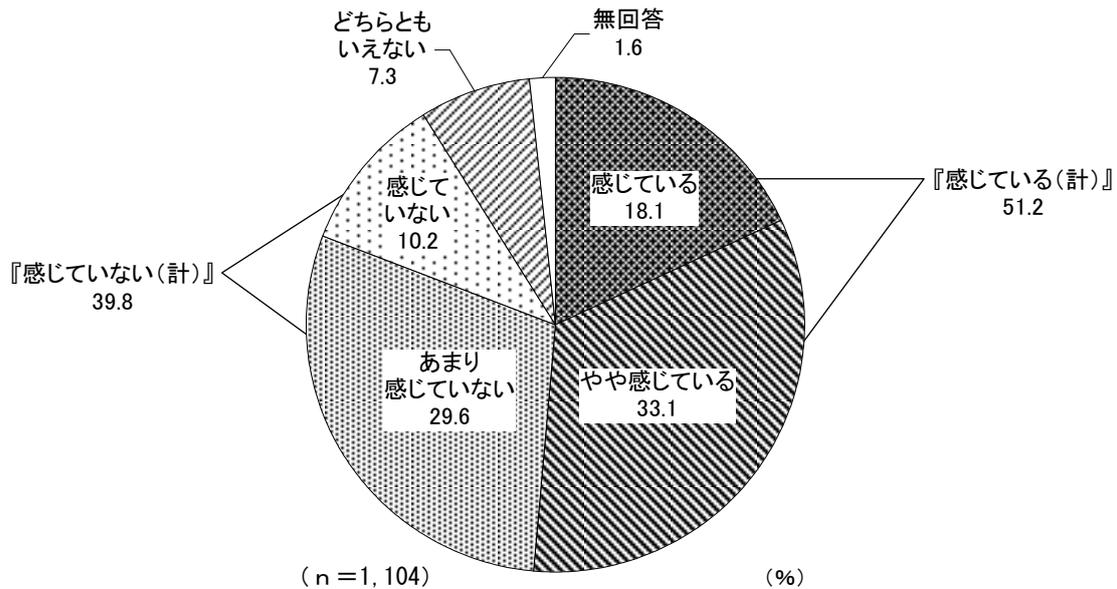


## 《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く<sup>まち</sup>都市》

### 7. 潤いとやすらぎのあるまち

■身近な場所で水や緑に親しめると感じているか・・・『感じている(計)』は5割を超える

身近な場所で水や緑に親しめると感じているか聞いたところ、「感じている」(18.1%)と「やや感じている」(33.1%)を合わせた『感じている(計)』(51.2%)は5割を超えて高くなっている。一方、「あまり感じていない」(29.6%)と「感じていない」(10.2%)を合わせた『感じていない(計)』(39.8%)は4割となっている。

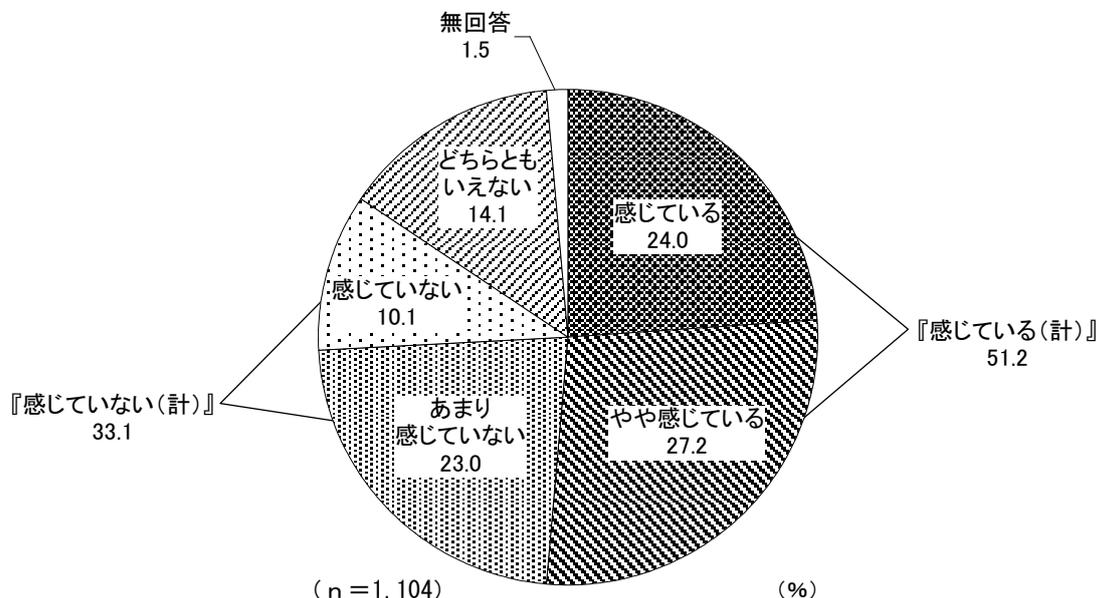


### 8. 世界へ羽ばたくまち

■羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献度

・・・『感じている(計)』は5割を超える

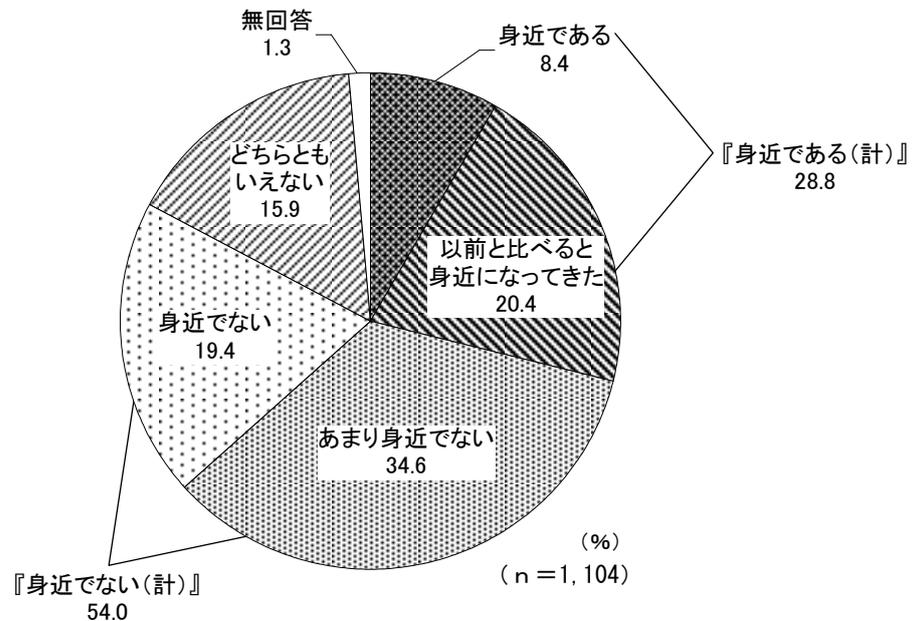
羽田空港及び羽田空港跡地が、地域経済の活性化に貢献すると感じているか聞いたところ、「感じている」(24.0%)と「やや感じている」(27.2%)を合わせた『感じている(計)』(51.2%)は5割を超えて高くなっている。一方、「あまり感じていない」(23.0%)と「感じていない」(10.1%)を合わせた『感じていない(計)』(33.1%)は3割を超えている。



## 9. 未来につながる空港臨海部

### ■ 空港臨海部が身近なまちとなってきているか・・・『身近である(計)』は3割近く

埋立地の空港臨海部が身近なまちとなってきたか聞いたところ、「身近である」(8.4%)と「以前と比べると身近になってきた」(20.4%)を合わせた『身近である(計)』(28.8%)は3割近くとなっている。一方、「あまり身近でない」(34.6%)と「身近でない」(19.4%)を合わせた『身近でない(計)』(54.0%)は5割半ばと高くなっている。

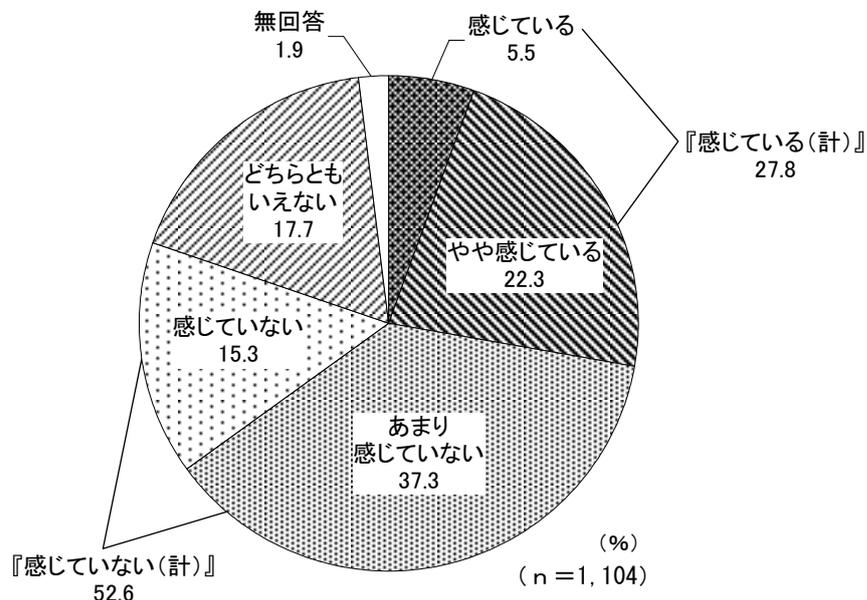


## 10. 国際交流

### ■ 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか

#### ・・・『感じている(計)』は3割近く

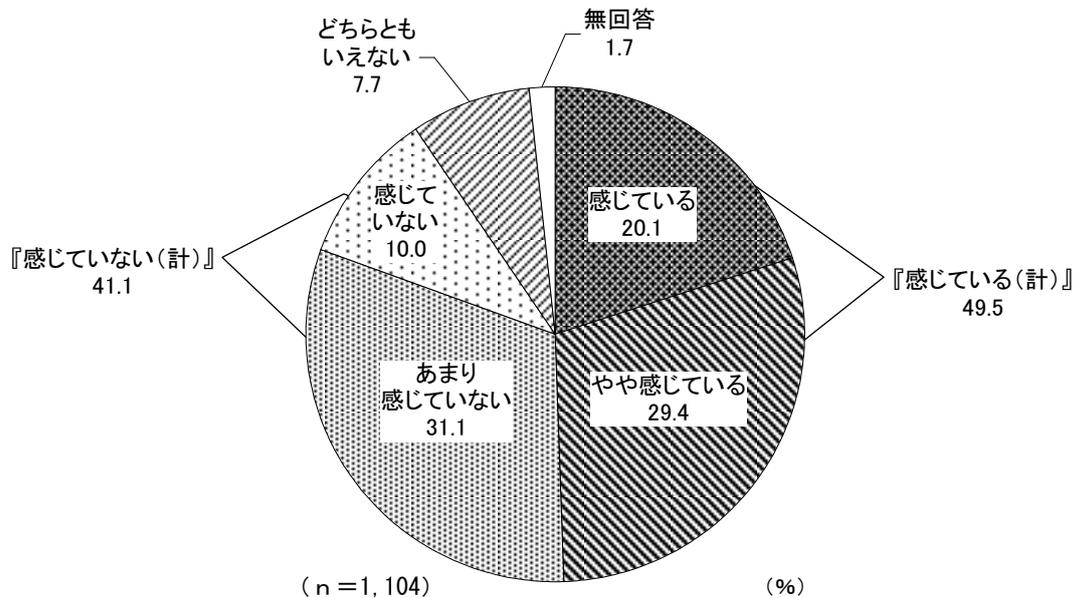
大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか聞いたところ、「感じている」(5.5%)と「やや感じている」(22.3%)を合わせた『感じている(計)』(27.8%)は3割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」(37.3%)と「感じていない」(15.3%)を合わせた『感じていない(計)』(52.6%)は5割を超えて高くなっている。



## 11. 大田区の観光

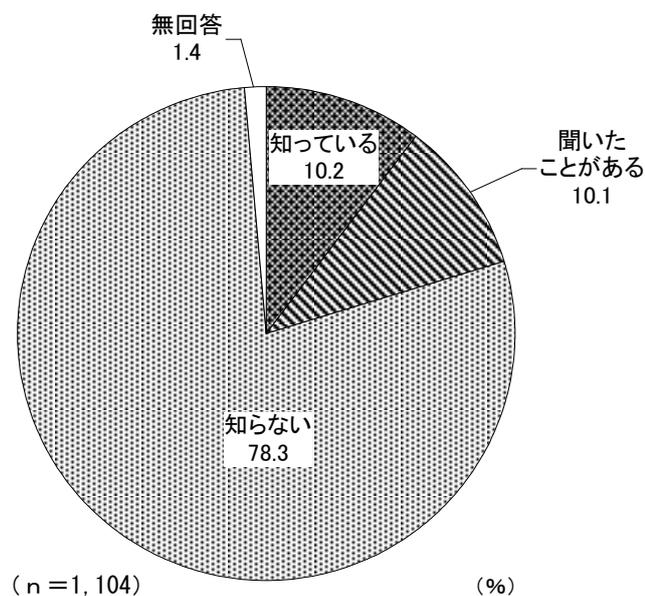
### ■大田区を訪れる外国人が増えていると感じるか・・・『感じている(計)』は5割

大田区を訪れる外国人が増えていると感じるか聞いたところ、「感じている」(20.1%)と「やや感じている」(29.4%)を合わせた『感じている(計)』(49.5%)は5割となっている。一方、「あまり感じていない」(31.1%)と「感じていない」(10.0%)を合わせた『感じていない(計)』(41.1%)は4割を超えている。



### ■「大田区観光情報センター」の認知度・・・「知っている」は1割

「大田区観光情報センター」を知っているか聞いたところ、「知っている」(10.2%)と「聞いたことがある」(10.1%)はともに1割となっている。一方、「知らない」(78.3%)は8割近くと高くなっている。

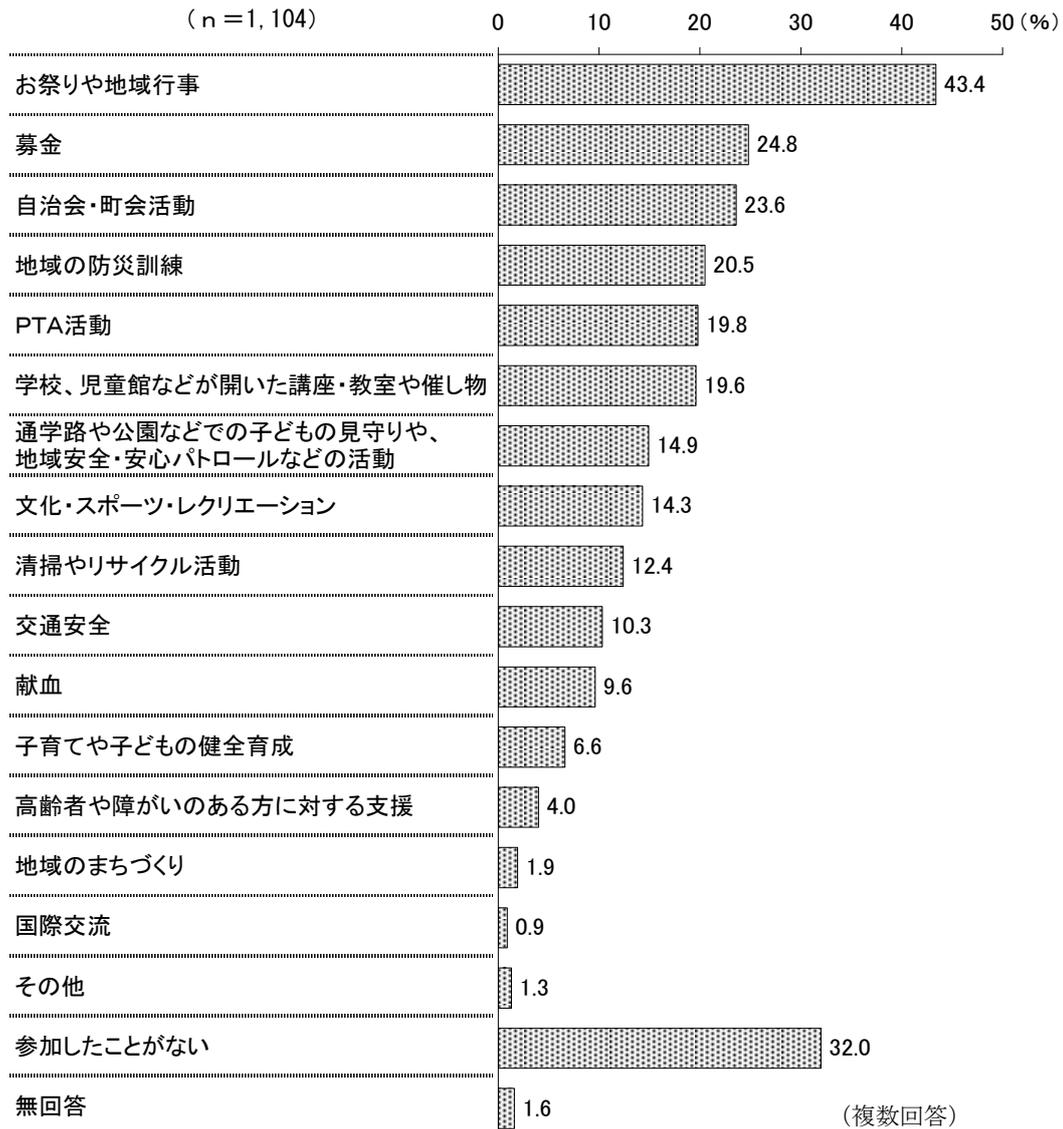


## 《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》

### 12. 地域力の土台づくり

#### ■ 参加したことがある地域活動・・・「お祭りや地域行事」が4割を超える

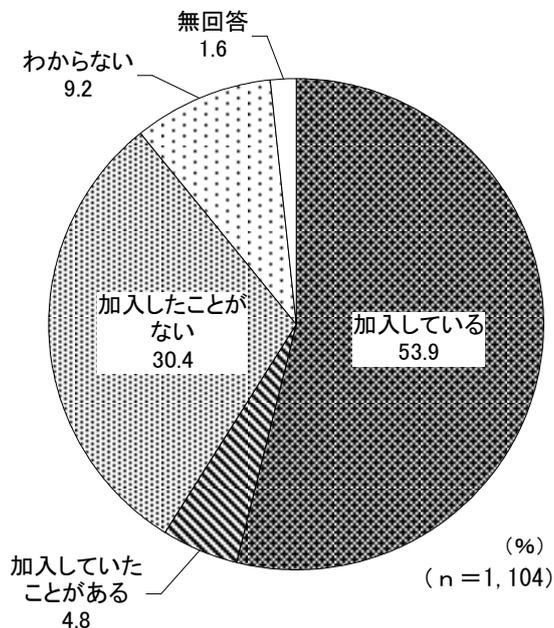
区内の地域活動に参加したことがあるか聞いたところ、「お祭りや地域行事」（43.4％）が4割を超えて最も高く、次いで「募金」（24.8％）、「自治会・町会活動」（23.6％）、「地域の防災訓練」（20.5％）、「PTA活動」（19.8％）、「学校、児童館などが開いた講座・教室や催し物」（19.6％）などの順となっている。また、「参加したことがない」（32.0％）は3割を超えている。



### 13. 地域力を活かした取り組み

#### ■自治会・町会の加入状況・・・「加入している」は5割を超える

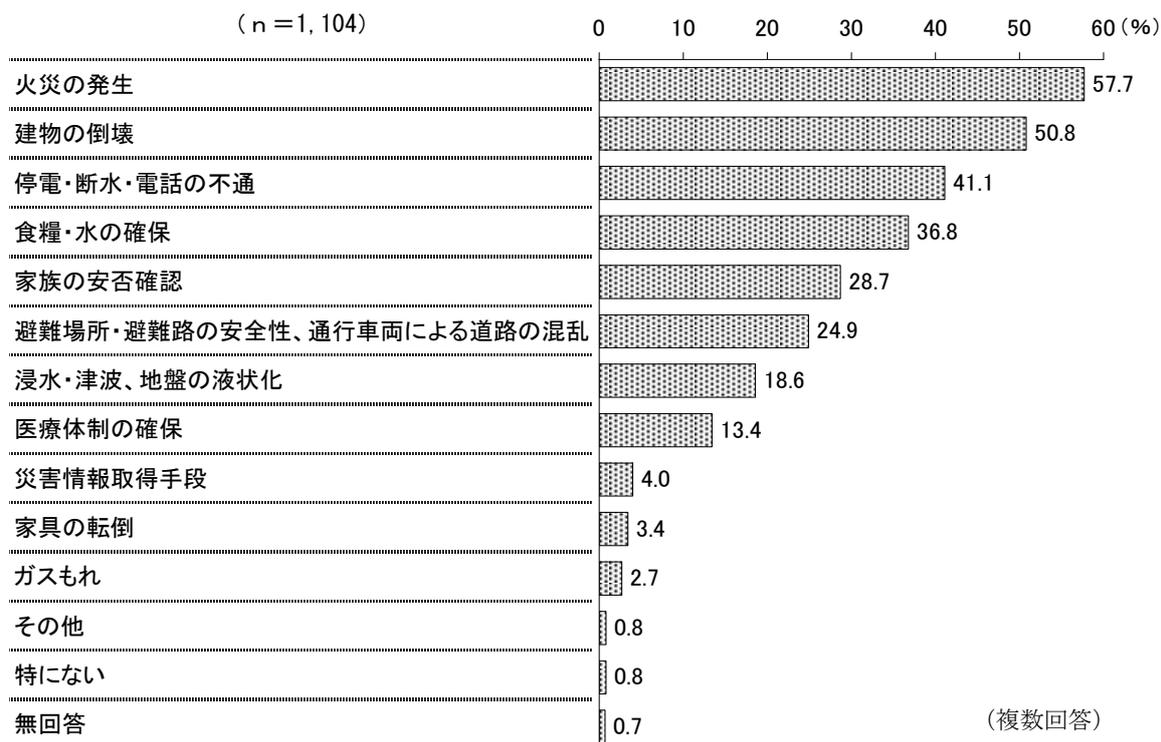
自治会・町会に加入したことがあるか聞いたところ、「加入している」(53.9%)が5割を超えて高くなっている。一方、「加入したことがない」(30.4%)は3割となっている。



### 14. 災害に強いまちづくり

#### ■大震災発生時に不安だと思うもの・・・「火災の発生」が6割近く

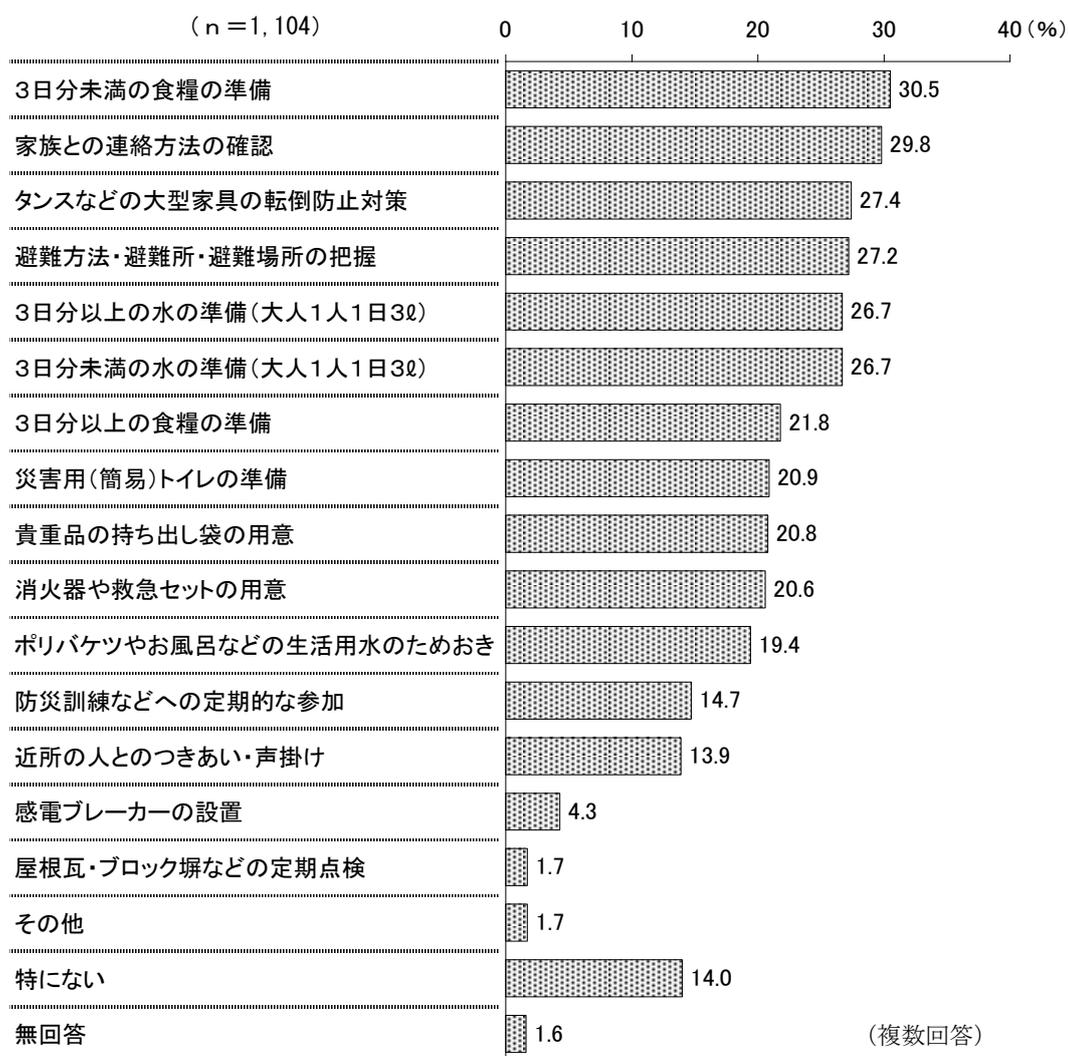
東京に大震災が発生した場合、特に不安だと思うものを聞いたところ、「火災の発生」(57.7%)が6割近くで最も高く、次いで「建物の倒壊」(50.8%)、「停電・断水・電話の不通」(41.1%)、「食糧・水の確保」(36.8%)、「家族の安否確認」(28.7%)などの順となっている。



■ 震災対策の実施状況・・・

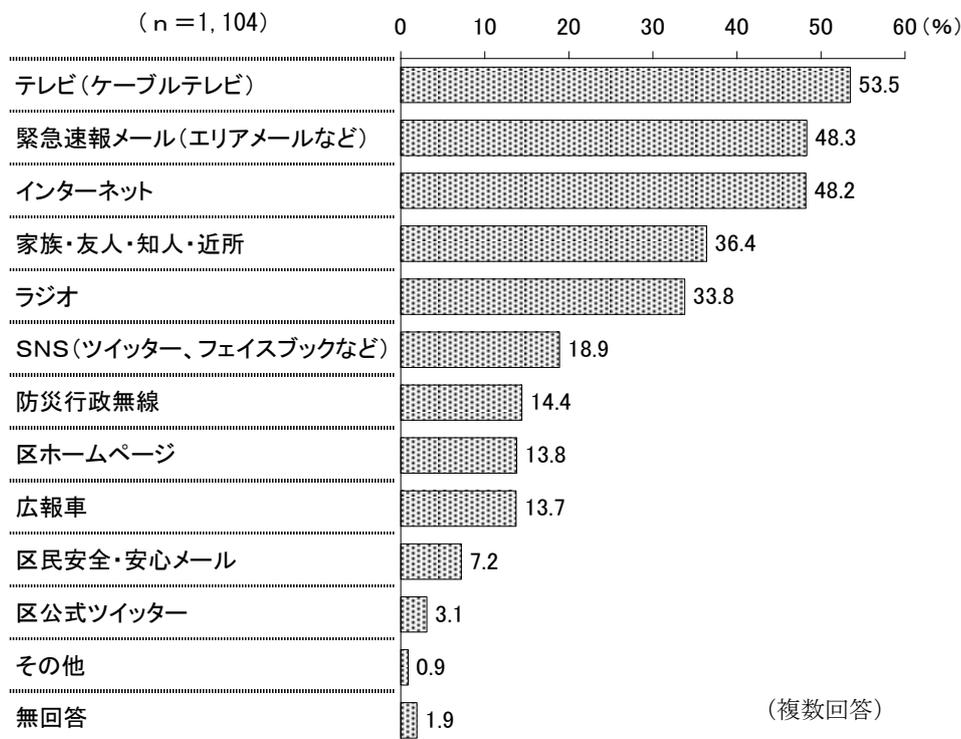
「3日分未満の食糧の準備」と「家族との連絡方法の確認」が3割前後

大地震に備えて普段から行っていることを聞いたところ、「3日分未満の食糧の準備」(30.5%)と「家族との連絡方法の確認」(29.8%)がともに3割前後で高く、次いで「タンスなどの大型家具の転倒防止対策」(27.4%)、「避難方法・避難所・避難場所の把握」(27.2%)、「3日分以上の水の準備(大人1人1日3ℓ)」(26.7%)、「3日分未満の水の準備(大人1人1日3ℓ)」(26.7%)などの順となっている。



## ■災害情報の入手手段・・・「テレビ（ケーブルテレビ）」が5割を超える

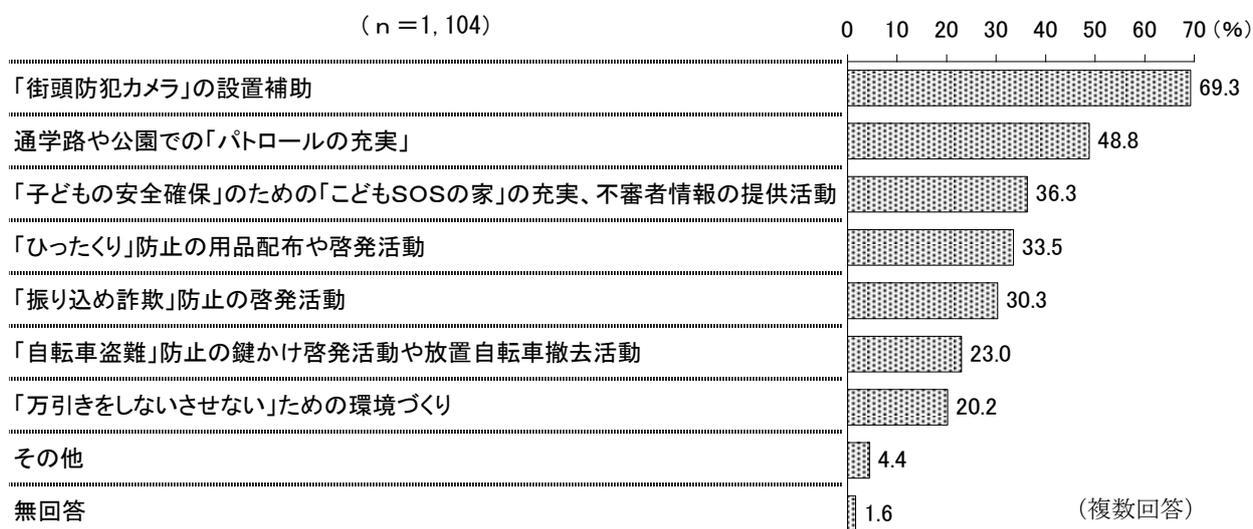
災害情報の入手手段を聞いたところ、「テレビ（ケーブルテレビ）」（53.5%）が5割を超えて最も高く、次いで「緊急速報メール（エリアメールなど）」（48.3%）、「インターネット」（48.2%）、「家族・友人・知人・近所」（36.4%）、「ラジオ」（33.8%）などの順となっている。



## 15. 防犯に強いまちづくり

### ■力を入れてほしい防犯施策・・・「『街頭防犯カメラ』の設置補助」が約7割

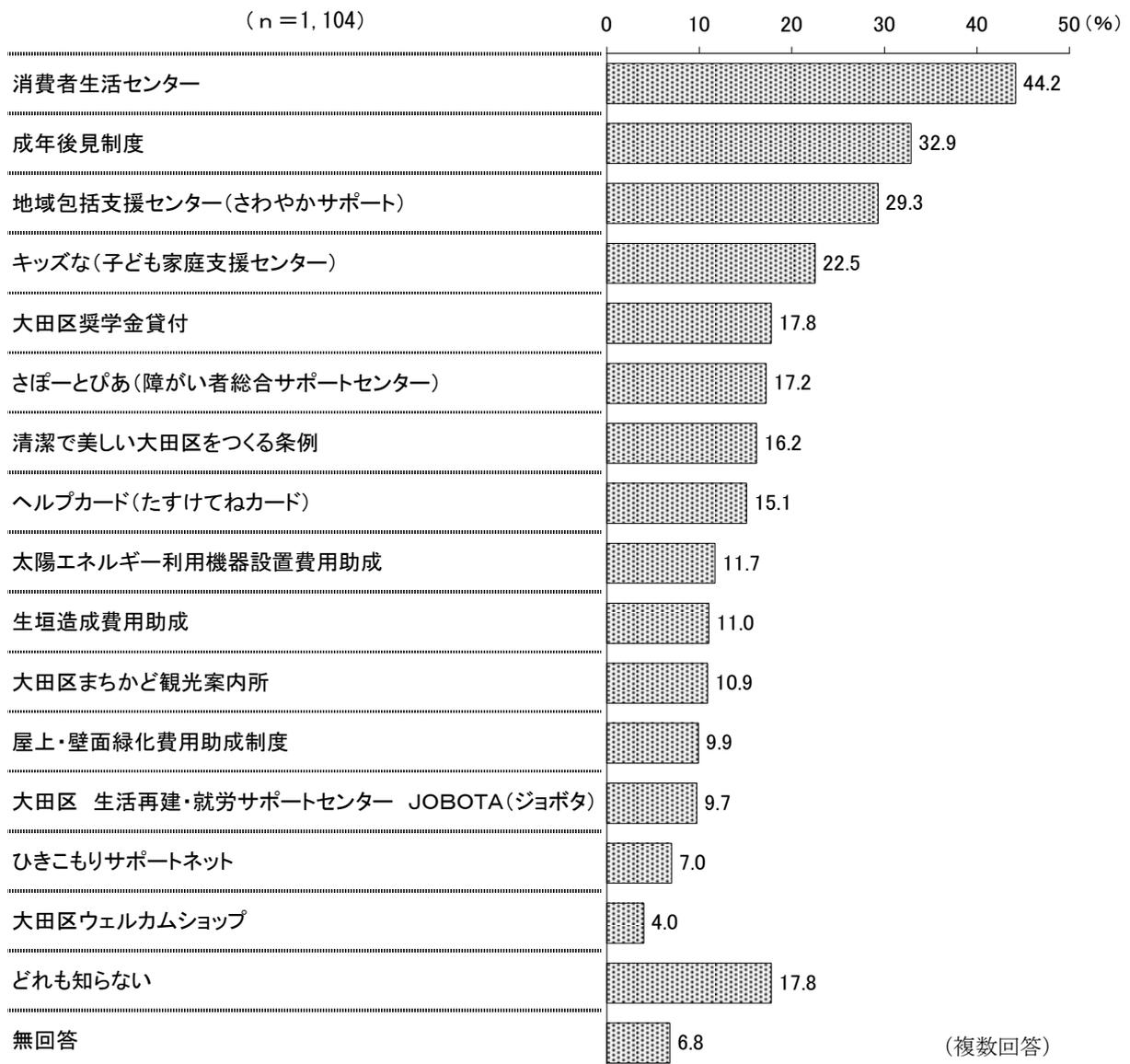
犯罪被害に遭わないようにするための防犯施策として、区が今後、力を入れてほしいことを聞いたところ、「『街頭防犯カメラ』の設置補助」（69.3%）が約7割で最も高く、次いで「通学路や公園での『パトロールの充実』」（48.8%）、「『子どもの安全確保』のための『こどもSOSの家』の充実、不審者情報の提供活動」（36.3%）、「『ひったくり』防止の用品配布や啓発活動」（33.5%）、「『振り込め詐欺』防止の啓発活動」（30.3%）などの順となっている。



## 16. 区政への関心と要望

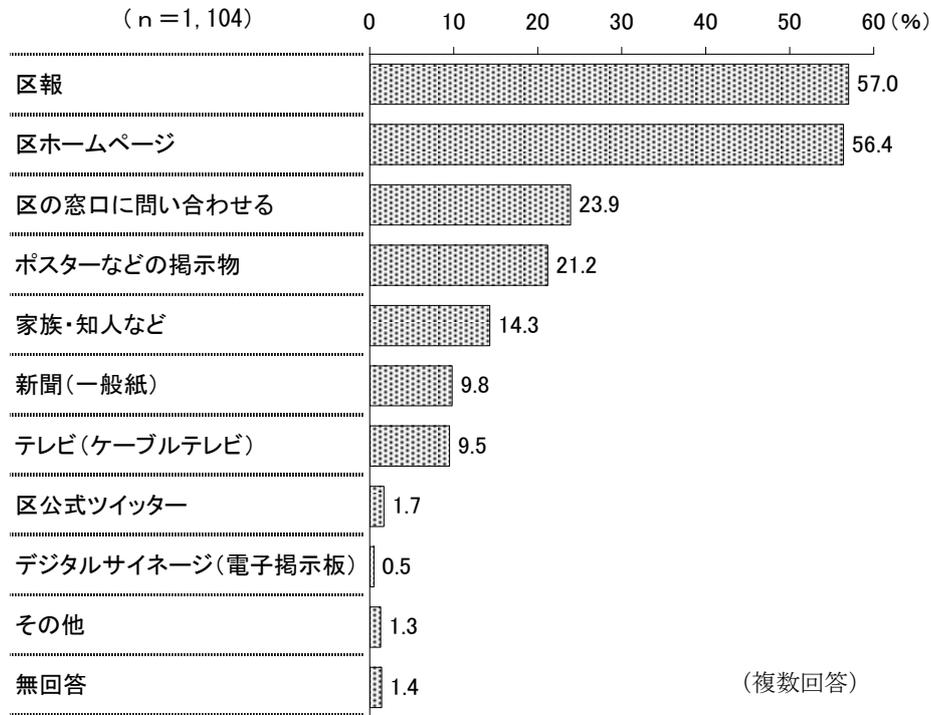
### ■ 区の制度・施策・施設の認知度・・・「消費者生活センター」が4割半ば

区の制度、施策、施設について知っているものを聞いたところ、「消費者生活センター」(44.2%)が4割半ばで最も高く、次いで「成年後見制度」(32.9%)、「地域包括支援センター(さわやかサポート)」(29.3%)、「キッズな(子ども家庭支援センター)」(22.5%)、「大田区奨学金貸付」(17.8%)などの順となっている。



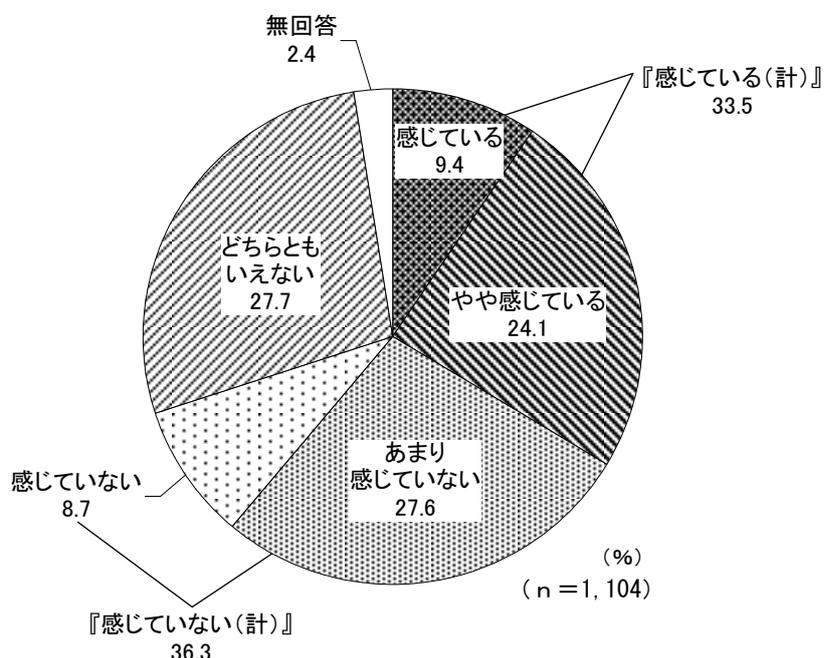
## ■ 区の情報を知るために利用する媒体・・・「区報」が6割近く

区の制度、施策、施設などの区の情報を知りたいとき、何を利用するか聞いたところ、「区報」(57.0%)が6割近くで最も高く、次いで「区ホームページ」(56.4%)、「区の窓口にお問い合わせ」(23.9%)、「ポスターなどの掲示物」(21.2%)、「家族・知人など」(14.3%)などの順となっている。



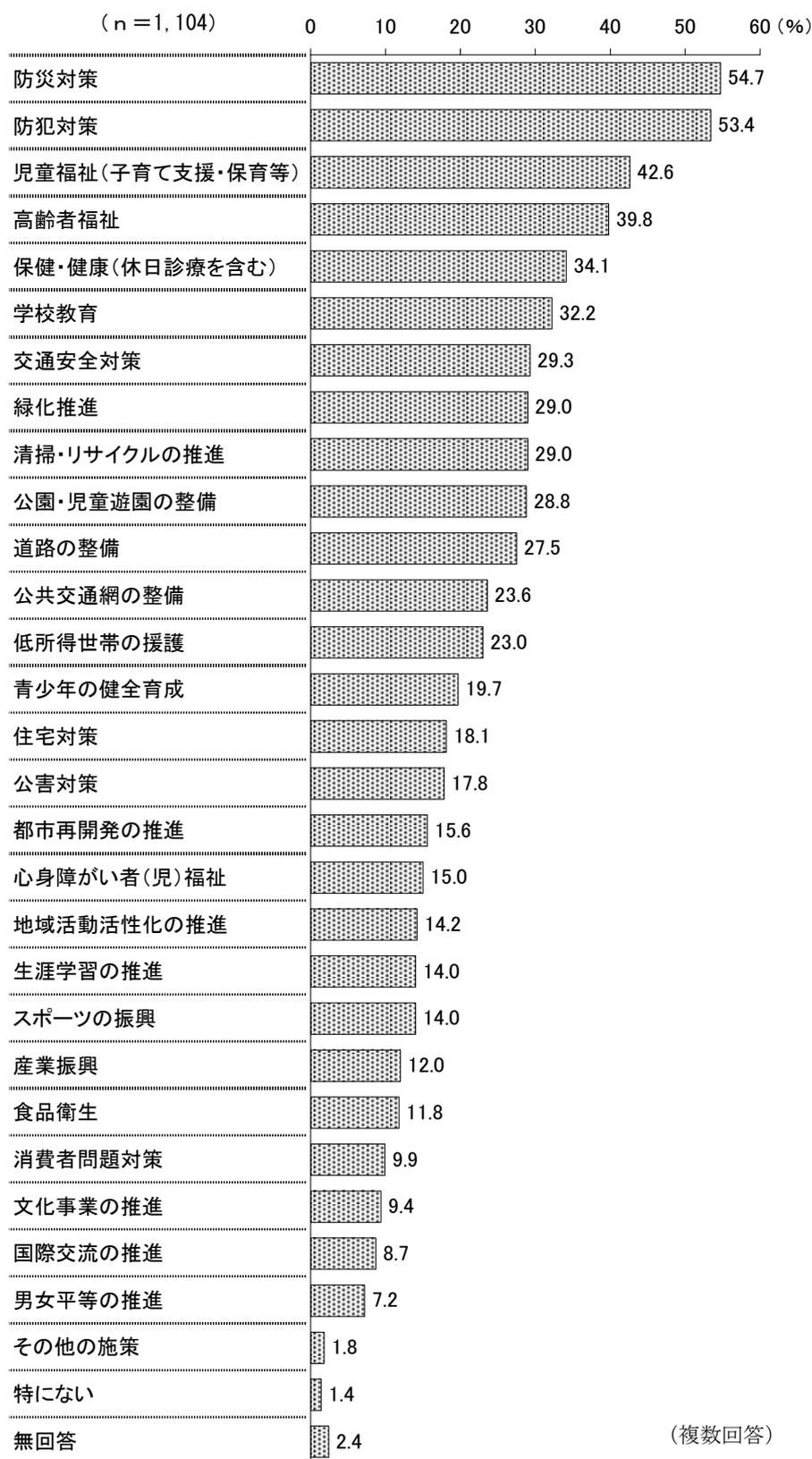
## ■ 区の情報公開・・・『感じている(計)』は3割を超える

区政情報が適切に公開されていると感じているか聞いたところ、「感じている」(9.4%)と「やや感じている」(24.1%)を合わせた『感じている(計)』(33.5%)は3割を超えている。一方、「あまり感じていない」(27.6%)と「感じていない」(8.7%)を合わせた『感じていない(計)』(36.3%)は3割半ばとなっている。また、「どちらともいえない」(27.7%)は3割近くとなっている。



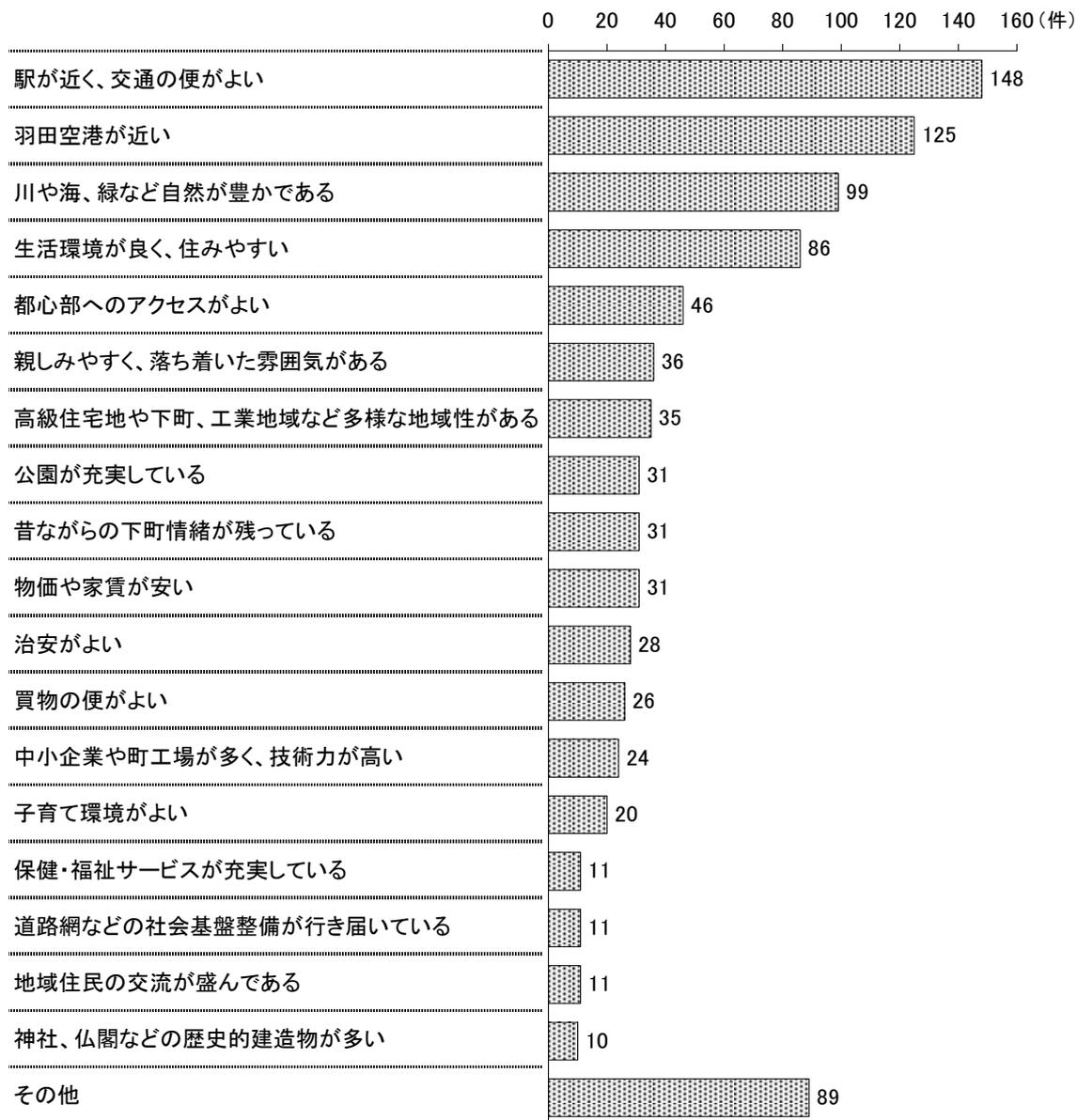
## ■ 施策要望・・・「防災対策」が5割半ば

区の施策の中で、特に力を入れてほしいことを聞いたところ、「防災対策」(54.7%)が5割半ばで最も高く、次いで「防犯対策」(53.4%)、「児童福祉(子育て支援・保育等)」(42.6%)、「高齢者福祉」(39.8%)、「保健・健康(休日診療を含む)」(34.1%)、「学校教育」(32.2%)などの順となっている。



## ■大田区の「良さ」や「魅力」・・・「駅が近く、交通の便が良い」が最も多い

大田区の「良さ」または「魅力」は何か、自由記述形式で聞いたところ、583人から898件の回答があり、「駅が近く、交通の便がよい」（148件）が最も多く、次いで「羽田空港が近い」（125件）、「川や海、緑など自然が豊かである」（99件）などの順となっている。類似的な回答内容をまとめた結果は以下のとおりである。



## 大田区政に関する世論調査（概要版）

平成28年12月発行

発行 大田区 企画経営部 広聴広報課  
 東京都大田区蒲田五丁目13番14号  
 電話：03-5744-1135  
 FAX：03-5744-1504

